

## 令和3年度春季大会発表の申込および発表原稿の作成について

### 1 発表者の資格等

代表発表者（口頭発表あるいはポスター発表における説明者）および筆頭者は本学会の一般会員および学生会員に限ります。なお、各大会において代表発表者として発表できる課題は、口頭発表およびポスター発表を合わせて1人につき1課題とします。

注意：代表発表者および筆頭者は必ず発表申込締切日（2021年1月4日）までに学会加入の手続きを済ませてください。学会加入しておりませんと発表できません。

### 2 発表形態等

#### 1) 口頭発表

①以下に示す4部会から構成します

- ・果樹部会
- ・野菜部会
- ・花き部会
- ・利用部会

②1課題当たりの発表時間は12分（発表開始から終了まで）です。発表用ファイルの作成上の注意点等については前掲の「大会のお知らせ」を参照してください。

③発表部会の決定に際しては発表者の申込時の希望を尊重しますがプログラム編成上等の理由から希望と異なる場合もあります。

④口頭発表は日本語によることを原則としますが、発表者が外国人等の場合には英語による発表も認めます。ただし、会期中のライブでの質疑応答に際しては、発表内容に精通し、かつ日本語による質疑応答が可能な共同研究者等も参加してください。

#### 2) ポスター発表

①以下に示す4区分から構成します。

- ・果樹
- ・野菜
- ・花き
- ・利用

②ポスター作成上の注意点等については前掲の「大会のお知らせ」を参照してください。

③ポスター発表申込数が大会における受入可能数を超えた場合、ポスター発表の受付を打ち切ります。

今大会は300課題で受付を打ち切ります。

### 3 発表の申込

#### 1) 発表の申込方法

オンライン大会登録受付システムの発表登録ページにアクセスして、発表の申し込みを行ってください。申し込み方法の詳細は前掲の「春季大会のお知らせ」あるいは園芸学会ホームページをご覧ください。なお、研究発表申込締め切り前に参加登録を削除すると、発表登録も自動的に削除されます。研究発表申込締め切り後に参加登録を削除すると、発表登録は削除されません。研究発表申込締め切り後に発表を取り下げの場合は、個別に対応しますので集会幹事までご連絡ください。

発表申込開始日 2020年11月30日（月）

発表申込締切日 2021年1月4日（月）

※ただし、上記のようにポスター発表は300課題に達し次受付けを打ち切ります。

#### 2) 発表登録に関する注意

修飾文字 $\alpha$ 、 $\beta$ 等は日本語フォントで入力してください。また機種依存文字（丸付き数字①、ローマ数字I、単位 $^{\circ}\text{C}$ 、 $\text{cm}$ 等）は認識できませんので適当な文字で代用してください。受領通知は修飾文字抜きで送信されますのでご了承ください。発表原稿は修飾文字を用いて正確に作成ください。

なお、機種依存文字の確認は

<http://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/networks/check/jisx0208.html>

をご覧ください。

#### 3) 発表原稿の提出

ポスター発表、口頭発表とも、「4 発表原稿の執筆要領」にしたがい発表原稿を作成し、「5 発表原稿の提出方法」をご参照の上、PDFのアップロードにより提出してください。

発表原稿の提出締切 2021年1月12日（火）24:00

受領通知は、E-mailにてWebによる発表申込完了の数分後にお送りします。受領通知が来ない場合は、申込が完了していませんので、必ず集会幹事までご連絡ください。

#### 4 発表原稿の執筆要領

①発表原稿は、図表等（写真を含む）を含め A4 版1枚片面とします。

②本文は [目的] , [材料および方法] , [結果および考察] で構成し、園芸学研究投稿規定・原稿作成要領に準じ、原則として和文で記載してください。ただし、留学生等、和文による記載が困難な場合は英文による記載も可とします。なお、英文で記載する場合も発表申込はこれまでどおり日本語で行ってください。

本文を和文で記載する場合、冒頭に表題、発表者名および所属機関名を和文で記載し、引き続き表題および発表者名の英訳を記載してください。なお、所属機関名は別表「機関名の省略法」に基づいた省略形を用い、発表者名に続けて括弧付きで記載してください。また、発表者および所属機関が複数となる場合は、それぞれ中点「・」（全角）およびコンマ「,」（全角）で区切って連記してください。

発表者名および所属機関名（和文）の記載に当たって、代表発表者名の左肩には肩付き記号「〇」を付してください。また、発表者が複数で、発表課題に係る研究を実施した際の所属機関が異なる場合は、該当する発表者名の右肩および所属機関名の左肩に同一番号を肩付き数字で、発表者の現在の所属機関（現所属機関）が発表課題に係る研究を実施した際の所属機関と異なる場合には、該当する発表者名の右肩および現所属機関名の左肩に肩付き記号「\*」をそれぞれ付してください（現所属機関を複数記載する場合は、「\*」の個数で区別します（「\*」、「\*\*」等））。なお、所属機関に係る肩付き数字および肩付き記号「\*」を連記する場合、発表者名については数字に引き続き「\*」を、所属機関については「\*」に引き続いて数字を記載してください。

記載の詳細については、園芸学会ホームページ (<http://www.jshs.jp/>) の「大会案内/研究発表の申込」に掲載されている発表原稿見本を参照してください。

##### ・発表者名および所属機関の記載例

○園芸太郎<sup>1</sup>・学会花子<sup>2</sup>・園芸次郎<sup>2\*</sup>・  
園芸三郎<sup>1\*\*</sup>  
(\*1〇〇大農学部, <sup>2</sup>◇◇園試, \*\*△△研セ)

	研究実施時 の所属機関	現在の所属機関
園芸太郎	〇〇大農学部	〇〇大農学部
学会花子	◇◇園試	◇◇園試
園芸次郎	◇◇園試	〇〇大農学部
園芸三郎	〇〇大農学部	△△研セ

本文を英文で記載する場合、冒頭に表題と発表者名を英文で記載し、引き続き表題、発表者名ならびに所属機関名を和文で記載してください。本文の構成は [Purpose], [Materials and Methods], [Results and Discussion] としてください。詳細は発表原稿見本を参照してください。

③原稿は文章作成ソフトで作成し、PDF ファイルに変換して提出してください。

上下3cm, 左右2cmのマージンを取り、文字は明朝体(和文)9ポイント、字数は1行46文字(全角)で46行程度とします。英文で記載する場合、文字はTimes New Romanあるいはそれに準じたフォントで10ポイントとし、字数は1行およそ100-110文字で46行程度としてください。斜体等文字飾りの使用は必要最小限に留めてください。原稿はそのままのサイズで印刷されるので明瞭な原稿の作成に努めてください。

④図表等は園芸学研究投稿規定・原稿作成要領に準じ、和文又は英文で作成してください。なお、図表等の数は多くとも3個程度とし、紙面に占めるスペースは全体の50%を越えないようにしてください。

#### 5 発表原稿の提出方法

学会ホームページに掲載されているPDFファイル作成手順に従って発表原稿をPDFファイルへの変換を行ってください。その際、すべてのフォントが埋め込まれていることを必ず確認してください。オンライン大会登録システムにアクセスし、画面の説明にしたがってPDFファイルをアップロードしてください。

#### 6 大会発表に関する問い合わせ先

園芸学会集會幹事

農業・食品産業技術総合研究機構果樹茶業研究部門内

E-mail: shukai@jshs.jp

TEL: 029-838-6516 (緊急時のみ)

注) 大会に係る最新情報については、園芸学会の公式ホームページ (<http://www.jshs.jp/>) を参照して下さい。

[別表]

**機関名の省略法** (2017年3月8日)

機関名	省略形
<b>教育研究機関</b>	
○○大学△△学部 ○○大学大学院△△研究科 ○○短期大学	○○大△△学部 ○○大院△△研究科 ○○短大
<b>国立研究開発法人</b>	
農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 野菜花き研究部門 農村工学研究部門 食品研究部門 生物機能利用研究部門 次世代作物開発研究センター 農業技術革新工学研究センター 農業環境変動研究センター 北海道農業研究センター 東北農業研究センター 中央農業研究センター 西日本農業研究センター 九州沖縄農業研究センター	農研機構果樹茶部門 農研機構野菜花き部門 農研機構農村工学部門 農研機構食品部門 農研機構生物機能部門 農研機構作物開発センター 農研機構革新工学センター 農研機構農業環境センター 農研機構北農研 農研機構東北農研 農研機構中央農研 農研機構西日本農研 農研機構九州農研
<b>公立試験研究機関</b>	
・都道府県名は「都」、「府」、「県」のみ省略する。 ・以下の単語については記載のとおり省略する。 「試験場」→「試」 「研究所」→「研」 「研究センター」→「研セ」 「センター」→「セ」 「農業」→「農」 「園芸」→「園」 「生物」→「生」 「科学」→「科」 「技術」→「技」 「工学(業)」→「工」 「総合」→「総」 「振興」→「振」 「改良」→「改」 「普及」→「普」  例： 北海道中央農業試験場 → 北海道中央農試 熊本県農業研究センター → 熊本農研セ 長野県果樹試験場 → 長野果樹試 茨城県農業総合センター 園芸研究所 → 茨城農総セ園研 鳥取県立農業大学校 → 鳥取農業大学校	
<b>その他</b>	
株式会社 財団法人	(株) (財)

注：①表中の「○○」、「△△」に該当する語は原則として省略しない。ただし、「公立試験研究機関」の項に省略形を示した単語については、省略形も可とする。

②附属農場、実験施設、支場、分場等附属組織については主組織の機関名（省略形）に引き続き附属組織名を省略せずに記載する。

例：岩手大農学部附属農場  
生資研放射線育種場

③試験研究機関等の隔地組織のうち所在地の明記を希望する場合は、機関名（省略形）に引き続き所在地名を括弧付きで記載する。

例：農研機構果樹茶部門（興津）